

2013年10月10日

## ランクセス、加工性を向上した Nd-BR の新製品を提供

～ タイヤ性能をさらにレベルアップ ～

ランクセス株式会社

合成ゴムのパイオニアで、Nd-BR(ネオジウム触媒ポリブタジエンラバー)の世界最大のメーカーであるランクセスは、加工性を向上した2つのNd-BRグレードを新たに提供すると発表しました。これらの新製品によって、例えば、低燃費タイヤの製造が従来よりも容易となり、タイヤ開発の選択肢が一層広がります。

新製品の「ブナ<sup>®</sup>(Buna<sup>®</sup>)Nd22EZ」と「ブナ<sup>®</sup>(Buna<sup>®</sup>)Nd24EZ」は、卓越した低転がり抵抗を備えたタイヤ製造に必須となる高いモル質量を特徴とすると同時に、ランクセスの新しいゴム改質技術によって加工性がはるかに向上しています。従って、これらの新しく改良されたNd-BRグレードは、すでにタイヤ業界で幅広く使用されている高性能ゴムNd-BRの「ブナCB22」および「ブナCB24」に取って替わる魅力的な製品となります。両製品は、サンプル出荷および量産出荷が可能です。

パフォーマンスブタジエンラバーズビジネスユニットの責任者であるヨアヒム・グループは、次のように述べています。「EUにおけるCO<sub>2</sub>排出量のうち、自動車からの排出量は約26%を占めています。そのため近年タイヤ業界では、他の特性にマイナスの影響を及ぼすことなく、エネルギー効率を向上することが主な課題となっています。一方で、エコタイヤを使用することで、自動車のCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減することが可能です。特にランクセスのNd-BRは、低転がり抵抗を備えた高性能タイヤの製造を実現する重要な素材として評価されており、つまりは、これらのタイヤは、低燃費およびCO<sub>2</sub>排出量削減を実現することが可能となります」

これらの合成ゴムの主な特性は、高いモル質量をもたらす狭い多分散性です。グループは、次のように説明しています。「ゴムのモル質量が高いほど、タイヤの転がり抵抗を低減することができます。従って、高分子量のNd-BRは、転がり抵抗および摩耗性など主要な特性において、幅広い多分散性を有する他のBRタイプより優れています。しかし、これまで高いモル質量は、高いムーニー粘度と相関性があり、従来の高性能ゴムNd-BRの最適な性能を引き出すには大きなハードルとなっていました。これらの高分子量ポリマーの加工性向上は業界の長年の課題であり、ランクセスにとっても顧客に貢献する上で重要なチャレンジでした。ランクセスのこの新素材は、長年、生産性の高い高分子量ポリマーを模索していたタイヤメーカーに、生産性を高める大きな機会と、新しい独自のゴム改質技術を活かした有望なソリューションを提供することができます」

より専門的に説明すると、この新しいNd-BRグレードの「ブナNd22EZ」と「ブナNd24EZ」の改質技術は、長鎖分岐を増加させるように設計されています。それが、充填剤のゴム母材への結合を迅速かつ確実にし、結果として加工性を向上します。さらに、鎖の独自の化学改質は、特に側壁コンパウンドにカーボンブラックを含有する場合、ゴム/充填剤の結合を高めます。結果として、新グレードで製造されたタイヤの動的性能は、ランクセスの従来のNd-BRグレードで製造されたタイヤと同等の高いレベルを維持します。Nd-BRは、単独ではほとんど使用されることはありません。むしろ、他のポリマー、特にSSBR（ソリューション・スチレン・ブタジエン・ラバー）とのブレンドでシリカを充填剤としたタイヤトレッド配合に使用されています。この改質は共重合体の位相分布も高めることが証明されています。これは、合成されたコンパウンドにおける充填剤の分布の均一化に繋がります。さらに、ランクセスの合成ゴムの専門家は、加工助剤を添加することなく、ミルでのゴムの粘着性の大幅な向上を実現しました。

「要約すると、新しく改質された Nd-BR グレードの『ブナ Nd22EZ』と『ブナ Nd24EZ』は、従来の『ブナ CB22』や『ブナ CB24』のような高性能ゴムの魅力的な代替品となります。新製品は、従来製品と同様の特性を備えているだけでなく、優れた加工特性も備えています」と、グループは述べています。例えば、「ブナ Nd22EZ」は、「ブナ CB24」と同じ方法で加工することができるとともに、高いムーニーグレードを有し、非常に複雑な加工が要求される「ブナ CB22」の動的性能にも匹敵します。「ブナ Nd24EZ」は、「ブナ CB24」と同等の性能を与えるだけでなく、コバルトを触媒とするポリブタジエンゴムと同等の容易な加工性をもたらします。グループは、また次のように述べています。「この新製品によって、タイヤメーカーは、現行のタイヤの性能を一段とレベルアップさせることが可能となります。しかし、これだけではありません。ランクセスは、単に高度な R&D だけに頼る世界有数のゴムサプライヤーではなく、積極的にゴム業界のニーズに耳を傾けています。例えば、ランクセス専用のタイヤ試験ラボでは、実際の運転条件下で、新しいタイヤゴムの試験を行っています。その結果として、2012 年 9 月に AA 等級（転がり抵抗・ウェットグリップ性能両方において A 等級）のコンセプトタイヤを公開しました。ランクセスは、常に『エコタイヤ』向けゴムの開発と迅速な市場投入に力を注いでいます」

現在、シンガポールのジュロン島において建設中の世界最大級の Nd-BR 製造プラント計画は順調に進行しています。投資額約 2 億ユーロ、年間製造能力 14 万トンを超える同プラントは、特にアジア地域の旺盛な「エコタイヤ」向けの市場に供給します。約 100 名の新規雇用を創出する見込みです。

詳細は、[www.Buna.com](http://www.Buna.com) をご覧下さい。

これは、ドイツ・ケルンで10月1日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

この原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

**ランクセスについて:**

ランクセスは、世界 31 カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2012 年の総売上は 91 億ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 17,500 人、世界中に 52 の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスは、持続可能性に優れた企業を選定する「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス(DJSI World)」および「FTSE4Good」の構成銘柄です。また、気候変動に関して優れた取組みおよび情報開示を行っている企業で構成される CDLI(Carbon Disclosure Leadership Index: 情報開示先進企業リスト)に選定されています。ランクセスについての詳細は 同社 URL にてご確認下さい。 [www.lanxess.co.jp](http://www.lanxess.co.jp)

**本件に関するお問い合わせ先:**

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

[lanxess.japan@lanxess.com](mailto:lanxess.japan@lanxess.com)

**免責について (Forward-Looking Statements):**

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

**その他の情報:**

ランクセスのニュースリリースは [www.lanxess.co.jp](http://www.lanxess.co.jp) の「プレスリリース」項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は <http://photos.lanxess.com> (英語) より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。 <http://multimedia.lanxess.com> (英語) ランクセスのウェブマガジンは下記でいただけます。

<http://webmagazine.lanxess.co.jp>

ランクセスの Facebook、Instagram、Twitter、Youtube の公式ページは下記サイトをご覧ください。

<http://www.facebook.com/LANXESS> (英語)

<http://www.instagram.com/LANXESS> (英語)

<http://www.twitter.com/LANXESS> (英語)

<http://www.youtube.com/LANXESSTV> (英語)

(2013-00112J)